

令和5年度
行政評価(実施計画(施策))外部評価



令和6年9月

飯島町

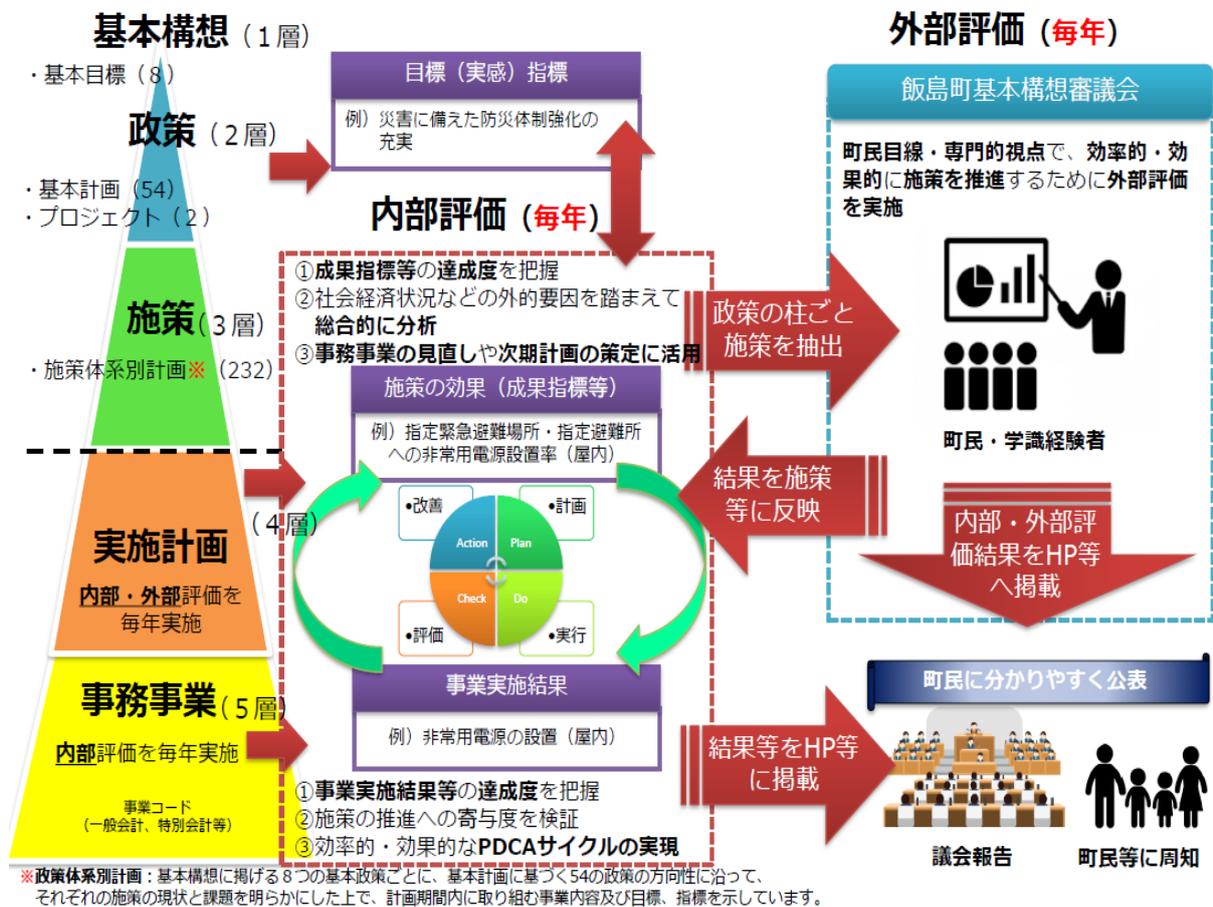
I 飯島町の施策評価・事務事業評価制度

1 目的

行政の施策を評価しマネジメントサイクル（PDCA サイクル）を確立することで、施策の改善を導き、効率的で成果を重視した行政と開かれた行政を推進します。

2 体系図

飯島町第6次総合計画における評価制度（全体イメージ）



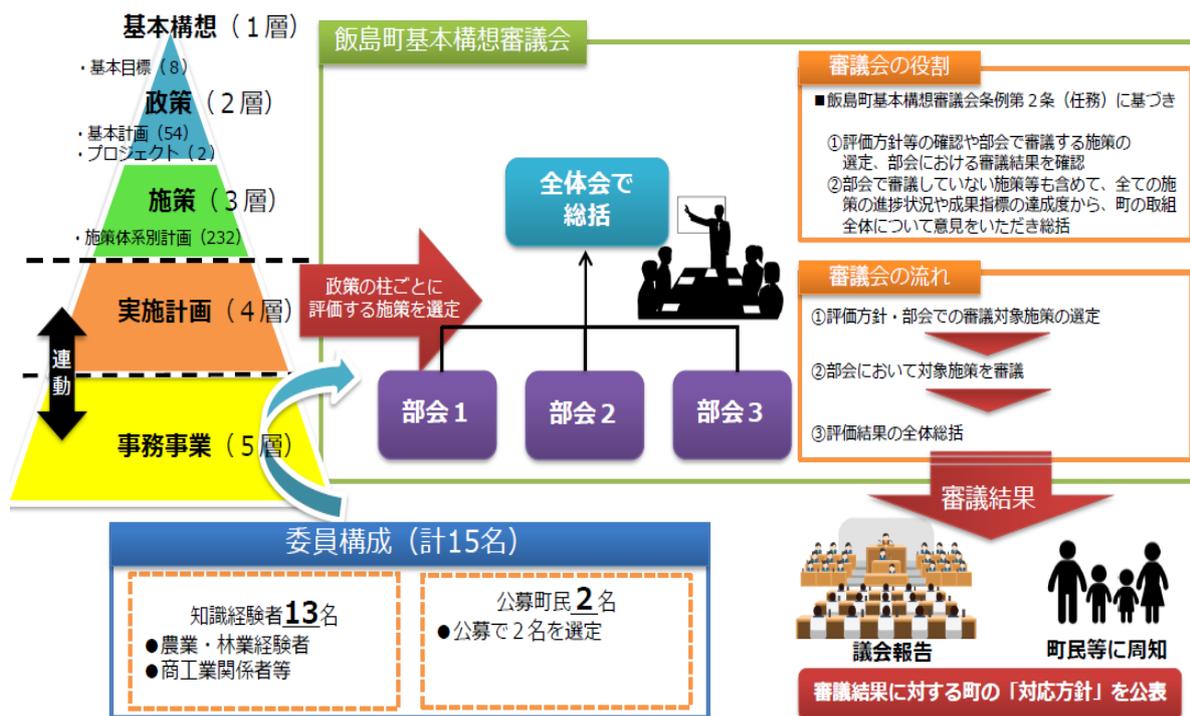
「実施計画（施策）評価」は、施策評価シートを活用し、成果指標等を通じて、配下の事務事業の効果を検証できるようにすることで、施策と事務事業の関係性を明確化し、事業の見直しに繋がります。

「事務事業評価」は、事務事業評価シートを活用し、効率的・効果的な進行管理となるよう、施策評価シートと連動することにより、事業の必要性や有効性、効率性などを客観的に評価できるようにし、効果的なPDCAサイクルの実現に繋がります。

II 外部評価

町民目線・専門的視点で、効率的・効果的に施策を推進するために、実施計画（施策）評価について外部評価を実施します。

1 外部評価の全体イメージ



2 評価者

第三者機関による評価として、基本構想審議会の委員が行います。

3 評価対象

飯島町第6次総合計画に基づく8つの基本目標ごとに評価する施策を1施策（事業）選定し、評価を行います。

4 評価方法

選定された評価対象施策について部会ごとヒアリング等を実施し、審議します。

各部会の審議結果を全体会で確認し、評価を確定します。

5 外部評価【スケジュールイメージ】

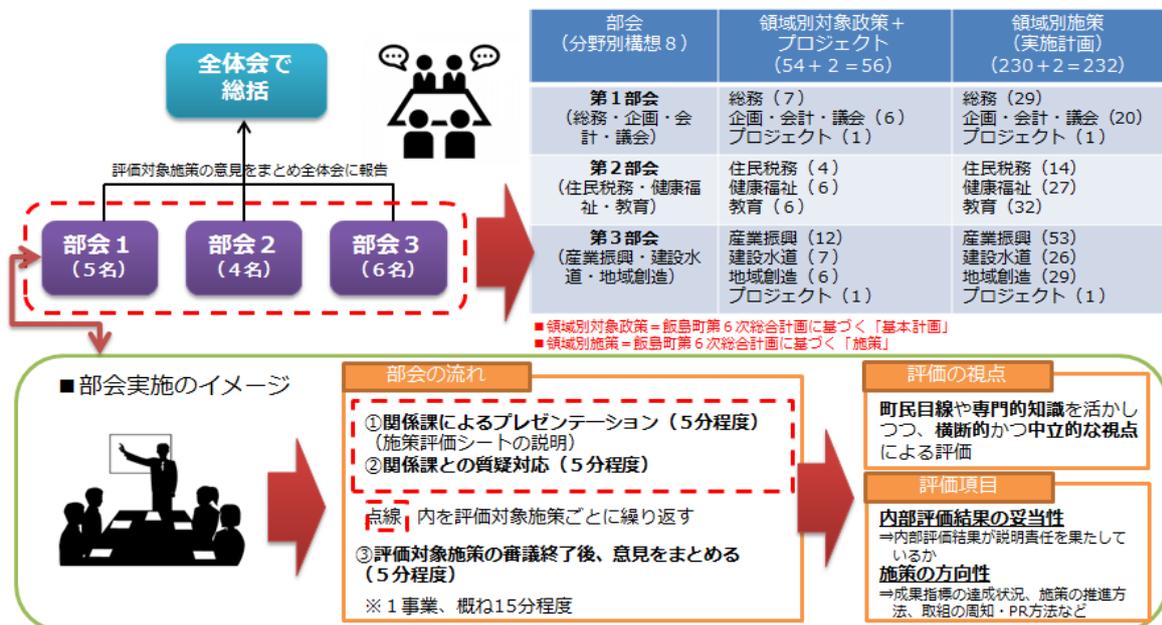
	7月		8月	
評価者	第1回 審議会	②質問 事項提出		第2回 審議会
事務局 企画調整係	①選定		③ まとめ	⑤評価
対象施策 担当者			④ 説明準備	

6 外部評価のポイント

- ・外部評価の対象施策は、政策の柱ごとに選定され、選定された施策の担当者は、施策の説明を十分に行います。
- ・審議会では、施策の進捗状況や成果指標の達成度から、総合的に評価を行い、意見を付して町に提出します。
- ・審議会の附帯意見について、町の対応方針を作成・公表し、今後の取組改善や次期実施計画に活用していきます。

7 外部評価における部会の役割と進め方

- (1) **選定した各施策を重点的に審議するため**、以下の分野別に分けた部会を設置し、選定した施策を重点的に審議する
- (2) 部会を構成する委員は、学識経験者と町民公募の体制で行う
- (3) 部会の審議終了後、**意見をとりまとめ、全体会に報告する**



8 外部評価シート イメージ

令和5年度 実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要									
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）	1.住民と行政の創合力による安全で安心なまちづくり							
	基本計画（2層）	1-（1）災害に備えた防災体制の充実							
	施策（3層）	1-（1）-3 避難所の感染症対策と備蓄品の充実							
	プロジェクト								
担当課	総務課	担当係	危機管理係	行財政改革プラン記載の有無	無				
関係課	避難所開設担当：住民税務課、健康福祉課、地域創造課、教育委員会								
施策の主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・災害有事に備えた衛生用品や防災用品の拡充 ・保管場所の慢性的な不足 ・災害有事における救援物資の荷受け・配給拠点の確保 								
施策の方向性	南海トラフ巨大地震などの震災や豪雨災害など、万一の災害に備え、防災体制や施設の整備・充実に図ります。 <ul style="list-style-type: none"> ・災害有事に備えた衛生用品や防災用品の拡充や更新 ・避難所開設マニュアルや運用マニュアルに沿った適切な対応 ・防災用品や衛生用品の保管場所及び災害有事における救援物資の拠点確保の検討調整 								
2 成果指標状況と成果の分析									
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名（指標の説明）									
		目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等	
			実績値b						
成果指標	1	災害用飲料水の備蓄数（1箱12リットル）	目標値a	250	250	250	250	250	箱
		実績値b	192	168	224				
	指標の説明	「飯島町地域防災計画」に基づき想定される災害用飲料水の備蓄数 ①人口×5%（9,500人×5%）＝475人 ②1人1日3リットル×475人×2日＝2,850リットル	達成率（b/a）	76.8	67.2	89.6	0	0	%
			災害用非常食の備蓄数	目標値a	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
2	指標の説明	「飯島町地域防災計画」に基づき想定される災害用非常食の備蓄数 ①人口×5%（9,500人×5%）＝475人 ②1人1日3食×475人×2日＝2,850食	実績値b	3,150	3,150	2986			
			達成率（b/a）	105.0	105.0	99.5	0	0	%
定性的な成果 （取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載）									
指標等の成果分析 （指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載）		●災害用飲料水は、備蓄総数が減少しておりますが、賞味期限（更新期）を平準化するための一時的な措置であるため、やむを得ないと考えています。今後数年で更新期の波を抑えた備蓄数の確保を予定しています。							

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡素に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	1861	●あらゆる災害に備えるとともに、職員防災体制の強化及び装備品や備蓄品の拡充 ●自助・共助の質を高めることによる住民主体の防災力の向上	●指定避難所の非常用電源未配備施設に非常用蓄電器を4基追加設置するとともに、非常用食料と備蓄水の計画的な更新を行い、有事に備えました。 ●ハザードエリア在住者の住所氏名、避難先、連絡先や関連の地図データを整備し、有事に備えました。 ●防災行政無線操作卓改修業務は事後審査型一般競争入札を経て、計画どおり操作卓の回収と機能強化を図ることができました。	R3	25,292	24,172
				R4	16,837	16,506
				R5	64,721	63,548
				R6	12,356	
				R7		
4 施策の進捗状況						
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由			
	A. 順調に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	●非常用非常食は必要数を確保し、非常用飲料水についても、賞味期限(更新期)の平準化の過程であることから、今後も計画的に進めていくため。			
5 今後の方向性						
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性			
	I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である)	I	●災害用飲料水や非常食は、賞味期限を把握し、適正な補完と更新に努めるほか、有事の際には必要とされる方に速やかに提供することとします。			
6 外部評価の所見						
評価者記入						
7 所見を踏まえた改善点						
担当者記入						

Ⅲ 申し合わせ事項

- (1) 評価には特別な知識等を要さない。
- (2) 全く知らなかった事業を評価する場合でも、審査会議（ヒアリング）において、事業の説明を聞き取り、「理解できた」「できなかった」も含め住民目線で評価する。
- (3) 特定の企業や団体、個人への利益誘導につながる行為は行わない。
- (4) 評価者が関わる事業へ、具体的な要望等を伝えない。

Ⅳ 外部評価対象施策

No.	基本目標	政策 (基本計画)	施策	所管係等	頁
1	1	(2) 住民主体の防災力アップ	1 自主防災会等における防災・減災活動の推進	危機管理係	7
2	2	(1) 低炭素・循環型のまちづくり	1 再生可能エネルギーの普及促進	生活環境係	9
3	3	(6) 高齢者も自分らしく暮らせるまちづくり	1 高齢者の社会参加の推進と助け合い活動の創出	高齢者福祉係	11
4	4	(4) 就農希望者への積極支援	3 国、県、JAの就農支援制度を活用した研修や初期投資の負担軽減	農政係	13
5	5	(6) 安全で安心な水道の確保	2 老朽管路の更新継続	水道係	15
6	6	(5) 住民参加で盛り上げるコミュニティ機能の充実	5 利便性の高いまちなかの「生活の場」づくり	地域係	17
7	7	(3) 子どものための家庭環境づくりの支援	2 子育てで世代が安心して子育てできるような、家庭の在り方を自ら学べる講座の開催	こども室	19
8	8	(1) 将来像を目指す仕組みづくり	2 プロジェクトチームの編成による施策の推進（人口増プロジェクト※）	企画調整係	21
9	8	(4) 公共施設の適正管理・有効活用	2 施設の総量を段階的に減らす取り組み	財政係	23
10	—	飯島ルネサンス「環境循環ライフ構想」プロジェクト※	豊かな森林や水資源を安定活用する強靱化を進め、木質バイオマス発電や水力発電により資源の地産地消や自主財源を図る「飯島ルネサンス」に取り組みます。	循環ライフ構想推進室	25

※分野横断的な重点施策

V 評価結果

外部評価実施日：令和6年8月27日

令和5年度 実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要										
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）		1. 住民と行政の割合力による安全で安心なまちづくり							
	基本計画（2層）		1-（2）住民主体の防災力アップ							
	施策（3層）		1-（2）-1 自主防災会等における防災・減災活動の推進							
	プロジェクト									
担当課	総務課	担当係	危機管理係	行財政改革プラン記載の有無	無					
関係課										
施策の主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・全国各地で大きな災害が頻発しているが、防災意識や防災への備えが着実に進んでいるとは言えない状況。 ・自治会役員も単年度で交代するため、その年々で取り組みや引継ぎに差。 ・防災や減災への備えはこれだけやっておけば大丈夫というのではなく、継続や繰り返しの取り組みが必要。 									
施策の方向性	<p>万一の災害に備え、大規模災害発生直後には住民の自助・共助が不可欠となることから、住民の防災意識向上や自主防災会の防災力アップなどに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自助と共助を高めるため、町民一人ひとりの防災意識の向上 ・防災全体説明会（学習会）をはじめ、防災訓練・防災講座の開催 ・災害有事に機能する自主防災組織となるよう、平時から必要な行政支援 									
2 成果指標状況と成果の分析										
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名（指標の説明）				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等
成果指標	1	自主防災会等での防災講座の開催回数（延数）	目標値a	10	20	30	40	50	回	
			実績値b	6	10	14				
	指標の説明	防災講座の開催回数（飯島町第6次総合計画）	達成率（b/a）	60.0	50.0	46.7	0.0	0.0	%	
	2	自主防災組織施設整備事業補助金の申請件数	目標値a	4	4	4	4	4	件	
実績値b			4	9	4					
指標の説明	補助金の申請件数	達成率（b/a）	100.0	225.0	100.0	0.0	0.0	%		
定性的な成果 （取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載）										
指標等の成果分析 （指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載）			<p>●コロナ禍を経ましたが、自主防災会における防災講座は開催回数が低く推移している。その一方で、中学2年生（3回）とシルバー人材センターに対し、防災講座・防災授業を実施することにより、防災意識の向上を図ることができました。また、自主防災組織施設整備補助金を活用し、対象自治会で防災用品を拡充することができました。</p>							

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	1861	<ul style="list-style-type: none"> ●あらゆる災害に備えるとともに、職員防災体制の強化及び装備品や備蓄品の拡充 ●自助・共助の質を高めることによる住民主体の防災力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ●指定避難所の非常用電源未配備施設に非常用蓄電器を4基追加設置するとともに、非常用食料と備蓄水の計画的な更新を行い、有事に備えました。 ●ハザードエリア在住者の住所氏名、避難先、連絡先や関連の地図データを整備し、有事に備えました。 ●防災行政無線操作卓改修業務は事後審査型一般競争入札を経て、計画どおり操作卓の回収と機能強化を図ることができました。 	R4	16,837	16,506
	防災対策費			R5	64,721	63,548
				R6	12,356	
4 施策の進捗状況						
施策の進捗状況 <small>(指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)</small>	区分		選択区分	進捗状況区分を選択した理由		
	A. 順調に推移している <small>(目標達成している)</small> B. 一定の進捗がある <small>(目標達成に向けて進捗している)</small> C. 進捗は遅れている <small>(目標達成が遅れる可能性がある)</small> D. 進捗は大幅に遅れている <small>(目標達成が難しい可能性がある)</small>		B	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災会における防災力の向上は急務であります。コロナ禍を経て、地震総合防災訓練を実施できたこと、また各自主防災会における規約や防災計画、装備品リストの作成に一定の進捗があったため。 		
5 今後の方向性						
今後の事業構成の妥当性 <small>(手段は妥当か)</small>	区分		選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性		
	I. 効果的な事業構成である <small>(現状のまま継続する)</small> II. 概ね効果的な構成である <small>(一部見直し等の余地がある)</small> III. あまり効果的な事業構成でない <small>(見直し等の余地が大きい)</small> IV. 事業構成に問題がある <small>(抜本的な見直し等が必要である)</small>		II	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災会の防災力向上のため、従前からの取り組みをより強化する必要があります。特に、土砂災害警戒区域の在住者のリストアップや避難先の確認のほか、防災計画や装備品の拡充については、危機管理係と各自主防災会が連携し、順次対応していきます。 		
6 外部評価の所見						
<ul style="list-style-type: none"> ●中学2年生を対象とした、防災講座・防災授業の実施について評価する。 ●引き続き、住民の防災意識向上や自主防災会の防災力を図ると共に、防災士の強化や防災教育(小学校・中学校など年代別)の拡充などの取り組みを望む。 						
7 所見を踏まえた改善点						
<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、防災力の向上、防災士の育成、防災教育などに努めて参ります。 						

令和5年度 実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要										
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）		2.美しく快適な暮らしの環境を将来へつなぐ							
	基本計画（2層）		2-（1）低炭素・循環型のまちづくり							
	施策（3層）		2-（1）-1 再生可能エネルギーの普及促進							
	プロジェクト		1.飯島ルネサンス「環境循環ライフ構想」プロジェクト							
担当課	住民税務課		担当係	生活環境係			行財政改革プラン記載の有無	無		
関係課	企画政策課、建設水道課、産業振興課、地域創造課									
施策の主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーの導入に向けた目標設定と施策の検討が必要 ・野立てによる太陽光発電施設の乱立抑制 									
施策の方向性	美しい自然にはぐくまれた快適で豊かなくらしを実現し、将来の世代に引き継いでいけるよう、省エネルギーや再生可能エネルギーの普及促進をはじめとする環境施策を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定に向けた、再エネ導入戦略の検討 ・地球温暖化対策設備設置補助金の新設（既設の太陽光発電施設設置事業及び太陽熱利用システム設置補助は、新設する地球温暖化対策設備設置補助金に統合） 									
2 成果指標状況と成果の分析										
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 （指標の説明）				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等
成果指標	1	指標の説明	太陽光発電システム設置補助事案件数（延数）	目標値a	332	343	354	365	376	件
				実績値b	327	333	348			
			達成率(b/a)	98.5	97.1	98.3	0.0	0.0	%	
	2	指標の説明		目標値a						
			実績値b							
		達成率(b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
定性的な成果 （取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載）										
指標等の成果分析 （指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載）			<ul style="list-style-type: none"> ●一般家庭への太陽光発電設備の導入にあたって、施主や住宅メーカーに補助制度が十分認知されていない。 ●既存住宅への太陽光発電設備の導入が進んでいない。 							

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	2872	<ul style="list-style-type: none"> ●飯島町新エネルギービジョン改訂に向け、策定委員会を設置して検討 ●地球温暖化対策実行計画(区域編)の策定について研究 	<ul style="list-style-type: none"> ●飯島町カーボンニュートラル実行計画(地球温暖化対策実行計画 区域施策編)を策定しました。(令和5年10月27日) ●いいちゃん産業まつりにカーボンニュートラルブースを出展しました。(令和5年11月11日) ●地球温暖化対策勉強会として農業委員を対象にソーラーシェアリング研修を行いました。(令和6年3月19日) ●地球温暖化対策設備導入補助を行いました。(太陽光発電15件、蓄電池16件、太陽熱1件) ●環境省の補助事業の活用に向け、地域脱炭素移行・再エネ推進事業計画の策定に着手しました。 	R4	5,284	4,749
	新エネルギー普及対策事業			R5	14,280	14,147
				R6	5,342	

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		<ul style="list-style-type: none"> A. 順調に推移している(目標達成している) B. 一定の進捗がある(目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている(目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある) 	B

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		<ul style="list-style-type: none"> I. 効果的な事業構成である(現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である(一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない(見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある(抜本的な見直し等が必要である) 	II

6 外部評価の所見
<ul style="list-style-type: none"> ●太陽光のみでなく、蓄電池等多岐にわたる補助制度を導入したことを評価する。 ●補助やその内容について、住民への周知に更に力を入れる等、住民がより利用しやすい仕組みづくりを望む。

7 所見を踏まえた改善点
<ul style="list-style-type: none"> ●国の補助事業を活用し、さらなる制度の充実を検討します。 ●町内建設業者、工務店、主要住宅メーカーへ補助制度の周知を図り、事業者が補助手続きを代行することで住民が利用しやすい仕組みを検討します。

令和5年度 実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要										
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）	3. 誰もが健康で居場所と出番があり共に支え合える地域づくり								
	基本計画（2層）	3-（6）高齢者も自分らしく暮らせるまちづくり								
	施策（3層）	3-（6）-1 高齢者の社会参加の推進と助け合い活動の創出								
	プロジェクト									
担当課	健康福祉課	担当係	高齢者福祉係	行財政改革プラン記載の有無	無					
関係課										
施策の主な課題	・高齢化率は上昇を続けており、公助だけでなく、自助・互助・共助が必要となっている。									
施策の方向性	<p>高齢になったり介護が必要になったりしても、培った人生経験や持てる力を発揮し、ともに支え合いながら生きがいを持って自分らしく暮らせるまちづくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の社会参加により、健康づくり・介護予防を促進 ・地域での人と人とのつながりを大切にしたい助け合い活動の創出を図る 									
2 成果指標状況と成果の分析										
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等
成果指標	1	健康寿命（平均自立期間）男性	目標値a	80.7	80.7	80.7	80.7	80.7	歳	
			実績値b	80.1	81.9	81.5				
	指標の説明	日常生活動作が自立している期間の平均（要介護2以上を不健康とする）（飯島町第6次総合計画）	達成率(b/a)	99.3	101.5	101.0	0.0	0.0	%	
	2	健康寿命（平均自立期間）女性	目標値a	85.2	85.2	85.2	85.2	85.2	歳	
			実績値b	85.4	85.7	85.6				
	指標の説明	日常生活動作が自立している期間の平均（要介護2以上を不健康とする）（飯島町第6次総合計画）	達成率(b/a)	100.2	100.6	100.5	0.0	0.0	%	
	3	要介護認定率	目標値a	15.5	15.5	15.5	15.5	15.5	%	
			実績値b	14.9	14.9	15.1				
	指標の説明	第1号被保険者に占める要支援・要介護者の割合（飯島町第6次総合計画）	達成率(b/a)	104.0	104.0	102.6	0.0	0.0	%	
	4	介護予防に資する通いの場への参加率 <small>（厚生労働省「地域支援事業実施要綱」2025まで1に8.0%）</small>	目標値a	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	%	
			実績値b	5.6	5.0	8.5				
	指標の説明	月1回以上開催している通いの場へ参加している人数/65歳以上人口	達成率(b/a)	140.0	100.0	141.7	0.0	0.0	%	
定性的な成果 (取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載)										
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載)		<ul style="list-style-type: none"> ●要介護認定率は後期高齢者が増加することで上昇すると見込んでいたが、横ばいとなっており介護予防の効果が出ています。 ●感染症の流行が落ち着き、通いの場の活動が活発になったことで参加率は上昇しています。 								

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	2303	●各種高齢者福祉施策(日常生活支援、外出支援等)について、事業を進めるとともに、内容について整理、見直しを図る。	●各種事業については、事務改善を行いながら、概ね例年通りの支援ができました。●生活交通確保については、公共交通施策、DX施策等と合わせて検討を行い、福祉タクシー券交付事業の対象者を令和6年度より拡充することができました。デジタルを活用した事業の展開に向けては、引き続き研究が必要です。	R 4	12,640	12,103
	在宅老人福祉事業			R 5	12,215	11,929
				R 6	17,226	
2	7767	●介護予防教室を実施し運動習慣の定着に向けた取り組みを行う。	●コロナ感染症が5類となり、1年間通じて事業を休止することなく実施できました。●フレイル予防教室は3教室から4教室へ拡充して実施しました。●生きがい活動教室は参加者の減少と高齢化が進んでおり、事業の見直しを検討し、令和6年度からの教室の改編ができました。●高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施で取り組んでいる健康講座において健診受診勧奨を行っており、後期高齢者循環器健診の受診率は年々上昇しています。(令和2年度:16.2%→令和3年度:17.7%→令和4年度:20.5%→令和5年度:22.0%)	R 4	10,196	10,187
	一般介護予防事業費			R 5	11,980	11,877
				R 6	9,643	

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		A. 順調に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である)	II

6 外部評価の所見
●高い水準の健康寿命を維持しており、事業の拡充、見直し等状況に応じた展開を行っていること、実情に寄り添った個別対応等の体制も整っていること、かつそれらに一定の成果が出ていることから、全体的に評価できる。

7 所見を踏まえた改善点
●高齢者を取り巻く環境は年々変化しています。状況を把握し、引き続きニーズに合わせて事業内容を見直しながら進めます。

令和5年度 実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要										
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）	4. 地域特性を生かした産業の創造と振興のまちづくり								
	基本計画（2層）	4-（4）就農希望者への積極支援								
	施策（3層）	4-（4）-3 国、県、JAの就農支援制度を活用した研修や初期投資の負担軽減								
	プロジェクト									
担当課	産業振興課	担当係	農政係	行財政改革プラン記載の有無	無					
関係課										
施策の主な課題	・国、県、JAの就農支援制度を活用した研修や初期投資の負担軽減									
施策の方向性	・飯島町農業の担い手の一翼として期待される新規就農希望者を積極的に受け入れ、就農準備から経営開始後のアフターケアまで、関連機関と連携して支援します。									
2 成果指標状況と成果の分析										
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等
成果指標	1	【再掲】新規就農者数（延致）	目標値a	8	9	10	11	12	人	
		指標の説明 新規に就農者した人の数 (飯島町第6次総合計画)	実績値b	4	4	4				
		達成率 (b/a)	50.0	44.4	40.0	0.0	0.0		%	
	2			目標値a						
指標の説明			実績値b							
		達成率 (b/a)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
定性的な成果 (取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載)										
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載)										

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	3213	<ul style="list-style-type: none"> ●就農5年後の農業者についても圃場巡回等状況の把握と支援の検討を実施 ●新規就農者の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ●新規就農者のJA・県支援センター含めた圃場確認を実施しました。(夏及び冬場の面談を現地にて実施) ●就農希望者の相談対応を実施しました。新規就農者は4名。 	R 4	15,930	15,750
	新規就農・経営継承総合支援事業			R 5	12,000	12,000
				R 6	15,300	

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		<ul style="list-style-type: none"> A. 順調に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある) 	B

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		<ul style="list-style-type: none"> I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である) 	II

6 外部評価の所見
<ul style="list-style-type: none"> ●成果指標である新規就農者数について、目標値に対して実績値が低いが、今の農業の状況を鑑みると、一定の評価はできる。引き続き取り組みを。

7 所見を踏まえた改善点
<ul style="list-style-type: none"> ●農業を取り巻く情勢は依然として厳しい状況にありますが、この間飯島町営農センターが推進してきた「地域複合営農」の理念のもと、今後も就農希望者に対する支援と受け入れを継続し、主要な担い手として定着できるよう、引き続き支援に努めてまいります。 ●併せて、従前からの農業者に加え女性や若者、障害を持つ方等が農業に参画しやすい環境づくりを目指して「つなぐ農業プロジェクト」も推進することで、農業に関わる多様な人材確保にも努めてまいります。

令和5年度 実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要											
政策体系上の 位置づけ	基本構想（1層）		5.暮らしを支える強靱で快適なライフラインの創造								
	基本計画（2層）		5-（6）安全で安心な水道の確保								
	施策（3層）		5-（6）-2 老朽管路の更新継続								
	プロジェクト										
担当課	建設水道課	担当係	水道係	行財政改革プラン 記載の有無	無						
関係課											
施策の 主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・難工事となる場所の石綿管の布設替え工事及び漏水箇所の調査 ・水道事業の有収率85%を目指します。 										
施策の 方向性	<p>重要なライフラインである水道について、被災時でも迅速に飲料水を供給できるよう、施設管路の耐震化を進めるとともに、より安定した経営を行うため、隣接自治体との連携を図り既存施設の有効利用を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度までに老朽管更新工事費1億円ベースで実施 ・令和5年度以降、老朽管更新工事費3千万円ベースで実施 										
2 成果指標状況と成果の分析											
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)				目標 実績	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和7 年度	単位 等	
成果 指標	1	水道管の管路耐震化率	目標値a	77.9	78.7	79.2	79.6	80.0	%		
			実績値b	79	79.2	79.6					
	指標の 説明	施設管路の耐震化を進める (飯島町第6次総合計画)		達成率 (b/a)	101.4	100.6	100.5	0.0	0.0	%	
	2	水道事業の有収率	目標値a	82.3	83.5	84.0	84.5	85.0	%		
実績値b			81.1	79.7	76.3						
指標の 説明	総水量に対して漏水等を除く料金回収できた水量の割合（飯島町第6次総合計画）		達成率 (b/a)	98.5	95.4	90.8	0.0	0.0	%		
定性的な成果 (取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載)											
指標等の 成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載)		<ul style="list-style-type: none"> ●令和5年度は繰越しもあり5,000万円の発注計画と、令和4年度の繰越し工事と合わせて5件発注しました。 ●予算を消化できず繰越ししているのが現状であり、課題となっています。 									

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡素に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1		●老朽管(石綿管)の耐震管への更新工事を実施し、水道事業の有収率85%を目指します。	●令和4年度繰越しを含む5件を発注し、4件が完了、1件を繰越しました。●有収率は新たに漏水が疑われる区域があり、前年度から3.5ポイント下がりました	R4	50,000	41,800
	水道事業会計			R5	50,000	
				R6	50,000	
4 施策の進捗状況						
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分		選択区分	進捗状況区分を選択した理由		
	A. 順調に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)		B	●耐震管への更新工事については、難工事箇所が残っており、工事個所の選定や地元調整等(断水範囲、迂回路)に時間がかかっているが、一定の進捗があるため。		
5 今後の方向性						
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分		選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性		
	I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である)		II	●更新工事については、令和6年度も同様に50,000千円とし、発注の正常化に努めます。 ●更新工事の効果は有収率の上昇により確認ができることから引き続き着実に実施していきます。 ●更新工事を進めていても地下漏水による有収率の低下が見受けられるため、先進的な漏水調査の実施をしていきます。		
6 外部評価の所見						
●過去の経過から、管路更新は終盤となってきており、更新工事が困難な箇所が残ってきているといった状況の中で、よく取り組みを進めていると思われる。引き続き取り組みを。						
7 所見を踏まえた改善点						
●石綿管の更新工事は計画的に進めてきています。引き続き安定した水を供給するため有収率と合わせて漏水調査を行いながら配水管の布設替工事を推進していきます。						

令和5年度 実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要										
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）		6. 魅力向上で住みたい・住み続けたい地域づくり							
	基本計画（2層）		6-（5）住民参加で盛り上げるコミュニティ機能の充実							
	施策（3層）		6-（5）-5 利便性の高いまちなかの「生活の場」づくり							
	プロジェクト									
担当課	地域創造課	担当係	地域係	行財政改革プラン記載の有無	無					
関係課										
施策の主な課題	・ 少子高齢化が進む中であって、学校帰りの子供から買い物ついでのお年寄りまでが安心して立ち寄り、コミュニケーションを図れる場が必要である。									
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民が活気ある豊かな心で共に支え合って暮らせるまちを目指し、コミュニティ機能の充実や魅力あふれるまちなかづくり、集いの場づくりを進めます。 ・ まちの駅の利用促進 									
2 成果指標状況と成果の分析										
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等
成果指標	1			目標値a						
				実績値b						
			達成率 (b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	%
	2			目標値a						
		実績値b								
		達成率 (b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	%	
定性的な成果 (取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載)		●スマホ教室等のイベントにより一定の利用はありましたが、コロナ禍の影響もあり観光客や小中学生の利用が減少してしまいました。								
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載)										

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	1174	●コロナ終息を見据え、町民有志による持続可能なまちなか活性化のイベントを支援	●四つの団体に補助金を交付して、コロナ禍で自粛や縮小していたイベントを行い多くの集客を集めてまちを元気にすることができました。●千人塚祭典(開催日5月5日)●ラプリーフェスタ(開催日8月6日)●りんりん祭(開催日8月16日~20日)●米俵マラソン(開催日11月26日)●スマホ教室等の開催やまちなかへのイルミネーション設置等●イルミネーション点灯式に合わせ駅前イベントを実施	R 4	11,881	11,397
	元気なまちづくり推進事業			R 5	12,422	11,051
				R 6	12,203	
4 施策の進捗状況						
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分		選択区分	進捗状況区分を選択した理由		
	A. 順調に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)		B	●まちの駅利用者が増加したため。 >令和5年度: 7,447名 (R6.2.29現在) >令和4年度: 5,820名		
5 今後の方向性						
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分		選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性		
	I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である)		II	●まちの駅を町民が気軽に立ち寄れる場として、まちの駅運営委員会を通じて議論し再構築していきま		
6 外部評価の所見						
●「まちの駅」は多くの子どもたちが集まっている状況はある。まちなかの状況は、どのようにしたらよいかむずかしい状況ではあると思うが、取り組みを進めていることは認められる。引き続き取り組みを。						
7 所見を踏まえた改善点						
●集いの場である「まちの駅」を、利用者の年齢層に偏りなく誰もが利用して頂けるよう、様々なイベントを企画・開催したり、施設内の展示物や物販の充実を図ります。						

令和5年度 実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要											
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）	7. 「子どもの元気」と「学びの力」でいきいき豊かな暮らし									
	基本計画（2層）	7-（3）子どものための家庭環境づくりの支援									
	施策（3層）	7-（3）-2 子育て世代が安心して子育てできるような、家庭の在り方を自ら学べる講座の開催									
	プロジェクト										
担当課	教育委員会	担当係	こども室	行財政改革プラン記載の有無	有						
関係課	健康福祉課										
施策の主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講座内容、講師の選定 ・ 感染防止の中での開催の在り方（人数制限や会場等） 										
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちにとってより良い家庭環境がつけられるよう、関係機関が連携を深めながら、支援体制を充実します。 ・ ニーズにあった講座のみならず、初めての子育て家庭向けや、リフレッシュ目的、親子で触れ合う時間の提供等講座に工夫をし、安心した子育てが出来る支援の実施 ・ 「第2期飯島町子ども・子育て支援事業計画」に基づく、楽しい子育てができる環境づくりを目指し、情報の提供や講座の開催、親子が生き生きとした生活を確保できる環境づくりを支援 										
2 成果指標状況と成果の分析											
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等	
成果指標	1	子育て支援センター利用者延べ人数		目標値a	9,800	9,800	9,600	9,600	9,600	人	
				実績値b	6,130	6,228	8,283				
	指標の説明		子育て支援センター利用者数 (飯島町第6次総合計画)		達成率 (b/a)	62.6	63.6	86.3	0.0	0.0	%
	2			目標値a							
指標の説明				達成率 (b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
定性的な成果 (取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載)											
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載)		<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症が5類となり、今まで制限していた事業が徐々に回復し、利用者数が伸びました。 									

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	2671	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援の強化に向けた体制整備 ●切れ目のない子育て支援のため関係機関と連携を取りながら事業の推進 ●新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しながら、質の向上、講座内容等の見直しを行い、安全でより利用しやすい支援センターの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症が5類となり、事業も以前のように実施しましたが、引き続き毎日の掃除(消毒)や入口での健康観察を継続し、感染防止に努めました。●今後の子育て支援センター運営の参考とするため、利用者アンケート(配布数50・回収数50)を実施しました。 	R 4	8,531	8,252
	子育て支援センター事業			R 5	8,264	8,107
				R 6	7,491	
2	5123	<ul style="list-style-type: none"> ●各関係機関・部署・支援員間での連携や情報共有体制の強化 ●病児病後児保育の町内実施に向けた支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●未就園3歳以上児1名に対し、「飯島町すこやか子育て応援補助金」を交付しました。●飯島町ママサポート事業を1家庭が利用されました。●病児病後児保育事業は、年間延べ544人の利用がありました。●他市町村との契約事務、毎月の実施報告、補助金の適正事務、他市町村への精算事務等適正に行うことができました。●子育て支援短期入所事業を1件、実施しました。 	R 4	14,583	13,762
	子ども支援費			R 5	19,009	17,769
				R 6	5,811	

4 施策の進捗状況			
	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	A. 順調に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症が5類となり、今まで制限していた事業が徐々に回復し、利用者数が伸びました。事業については、引き続き工夫しながら、実施することができたため。

5 今後の方向性			
	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (根本的な見直し等が必要である)	II	<ul style="list-style-type: none"> ●支援センターの各種講座、事業の開催については、来場者のニーズも把握しながら検討し実施していく必要があります。

6 外部評価の所見
<ul style="list-style-type: none"> ●保育士のケアに力を入れた施策を望む。 ●働く親が多く未満児保育も増えていることから、支援センターの利用延べ人数というより、更に実情に合わせた有効な指標を設定されたい。

7 所見を踏まえた改善点
<ul style="list-style-type: none"> ●保育士のケアについては、今後も働き方や処遇改善を含め力を入れた施策に取り組んでまいります。 ●現在の指標である支援センター利用延べ人数については、対象人数(1歳児)に対する利用登録者率に変更する予定でおります。

令和5年度 実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要									
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）		8. 将来像を実現する創造力にあふれた行政基盤づくり						
	基本計画（2層）		8-（1）将来像を目指す仕組みづくり						
	施策（3層）		8-（1）-2 プロジェクトチームの編成による施策の推進						
	プロジェクト		2. 人口増プロジェクト						
担当課	企画政策課	担当係	企画調整係	行財政改革プラン記載の有無	有				
関係課	全課								
施策の主な課題	人口増（人口減少）対策								
施策の方向性	<p>総合計画などの長期計画の着実な運用を図ることで、社会の変化に対応できる、将来にわたって暮らしやすい持続可能なまちづくりを進めます。また、住民ニーズの多様化に応えるため分野を超えて施策を実現していく仕組みをつくります。</p> <p>・プロジェクト・チームの設置及び運営に関する規程、飯島町第6次総合計画に掲げるプロジェクト推進のためのプロジェクトチーム設置要領に基づきプロジェクトチームを設置し、「飯島町第6次総合計画」「飯島町人口ビジョン」に基づく、人口増（人口減少）対策を推進</p>								
2 成果指標状況と成果の分析									
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)			目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等
成果指標	1	プロジェクトチームによる問題解決件数（延数）	目標値a	0	1	2	3	4	件
			実績値b	5	17	18			
	指標の説明	施策の事業化（新規・拡充等）件数（飯島町第6次総合計画）	達成率（b/a）	#DIV/0!	1,700.0	900.0	0	0	%
	2			目標値a					
指標の説明			実績値b						
			達成率（b/a）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
定性的な成果 (取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載)			<p>●飯島町第6次総合計画に基づく「人口増プロジェクト」の推進について、各ワーキンググループ会議において、町における影響・課題を分析し、それに対処する戦略（施策）を立案し、令和6年度の事業として具体化することができました。</p> <p>>人口増プロジェクト全体会議（2回、オンライン研修会含）</p> <p>>情報発信・魅力向上ワーキンググループ会議（1回）</p> <p>>定住促進ワーキンググループ会議（1回）</p> <p>>子育て・婚活ワーキンググループ会議（1回）</p> <p>>保育・教育環境ワーキンググループ会議（1回）</p>						
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載)			<p>●施策を事業化（拡充）したことにより目標値を達成することができました。</p> <p>【子育て・婚活】</p> <p>①産後ケア費助成金の拡充（妊娠・出産包括支援事業の一部）</p> <p>出産後、退院直後の母子に対して心身のケアや育児サポート等をきめ細やかな支援を実施（参考）利用者自己負担 ※一部国庫支出金を充当</p> <p>現行：1/2（上限12,500円）</p> <p>拡充：町の補助率の嵩上げ（9割補助（上限なし））</p>						

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1				R 4		
				R 5		
				R 6		

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		A. 順調に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	A

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (根本的な見直し等が必要である)	II

6 外部評価の所見
●引き続き、町における影響・課題を分析しつつ、企業誘致や就業、さらに情報発信等(学生や若者)を踏まえた人口施策を望む。

7 所見を踏まえた改善点
●ご指摘を踏まえ、各ワーキンググループ等で検討を進めてまいります。

令和5年度 実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要					
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）	8. 将来像を実現する創造力にあふれた行政基盤づくり			
	基本計画（2層）	8-（4）公共施設の適正管理・有効活用			
	施策（3層）	8-（4）-2 施設の総量を段階的に減らす取り組み			
	プロジェクト				
担当課	企画政策課	担当係	財政係	行財政改革プラン記載の有無	無
関係課	全課				
施策の主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの公共施設等が、近い将来一斉に改修・更新時期を迎え、多額の費用が必要になると見込まれる。 ・人口減少および少子高齢化に伴う財政状況の悪化により、固定費ともいえる公共施設等の更新に係る費用を、適正な水準に抑えることが喫緊の課題となっている。 				
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の人口の状況を見据えた中で、公共施設の維持管理や整備に必要な費用が住民の大きな負担とならないように、公共施設の有効活用や維持管理コストの効率化、施設の総量を段階的に減らす取り組みを進めます。 ・「飯島町公共施設等総合管理計画」及び各個別施設計画・長寿命化計画のもと、長期的な視点をもって、利活用の促進や統廃合・長寿命化の施策を計画的に行い、公共施設の更新等に係る財政負担を軽減 ・平準化するとともに、住民ニーズを的確に捉え、全庁的、総合的な管理を推進 				

2 成果指標状況と成果の分析										
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等
成果指標	1	指標の説明	公共建築物延床面積の抑制（延数）	目標値a	76,064	75,358	75,298	74,227	74,227	㎡
			実績値b	74,128	70,530	70,420				
			達成率(b/a)	97.5	93.6	93.5	0.0	0.0	%	
	2	指標の説明		目標値a						
			実績値b							
		達成率(b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
定性的な成果 (取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載)										
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載)			<ul style="list-style-type: none"> ●公共建築物の総量の削減が目標となっているが、各所管課における除却や統廃合の検討・実施が計画どおり進むよう実施計画や予算編成の折に調整を行い、全体の進捗管理に努めます。 							

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1				R 4		
				R 5		
				R 6		

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		A. 順調に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である)	I

6 外部評価の所見
●引き続き、住民の理解・協力を得ながら、「飯島町公共施設等総合管理計画」に基づき公共施設の除却や統廃合、長寿命化が計画的に進められるよう望む。 ●また、財源の確保や財政負担の平準化を望む。

7 所見を踏まえた改善点
●公共施設の除却や統廃合等を実施する際には、地域住民や関係者の皆様への丁寧な説明を行い計画的に進めてまいります。 ●財源については、町の財政負担が最小限かつ平準化となるよう補助金や起債、基金等の活用により計画的に進めてまいります。

令和5年度 実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要											
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）	—									
	基本計画（2層）	—									
	施策（3層）	—									
	プロジェクト	1. 飯島ルネサンス「環境循環ライフ構想」プロジェクト									
担当課	地域創造課	担当係	環境循環ライフ構想推進室	行財政改革プラン記載の有無	有						
関係課	企画政策課、住民税務課、産業振興課、建設水道課										
施策の主な課題	<p>・この土地ならではの資源を生かし、産業を育てるとともに、人間本来の営みや人と人との頼り合い、心の平穏を育み、経済活動を豊かに暮らせるまちの構築</p> <p>・解決に向けて取り組む地域課題「自主財源の確保」「脱炭素」「災害への備え」「山林の荒廃」「農業の担い手不足」「農村風景の保全」「地域活力の低下」「人口減少」</p>										
施策の方向性	<p>・地域の資産・資源に価値を見出し、経済性の伴った事業を展開することで、環境・経済・社会の課題の同時解決を目指します。地域資源を活かし、消滅可能性都市から子どもたちが誇れる持続可能なまちを創っていきます。</p>										
2 成果指標状況と成果の分析											
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等	
成果指標	1	水力発電の設置予定数（年）		目標値a	—	—	—	1	—	基	
				実績値b	—	—	—	—	—	—	—
	2	指標の説明	町内に設置される予定の水力発電における系統接続申請数	達成率 (b/a)	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0	#VALUE!	%	
		木質バイオマス発電の設置予定数（年） (バイオマス発電)		目標値a	—	—	1	1	1	基	
	3	バイオマス発電の排熱を活用した農業施設数（年）		目標値a	—	—	—	1	1	箇所	
				実績値b	—	—	—	—	—	—	
	4	指標の説明	7カ所/リノベーション2030における排熱を活用した高度施設園芸数	達成率 (b/a)	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0	0	%	
		いいじま体験プログラムの参加者数（ワークショップ） (延数)		目標値a	20	40	60	80	100	人	
					実績値b	68	333	668	—	—	
	指標の説明		飯島流ワークショップにおける体験プログラム及び宿泊者数	達成率 (b/a)	340.0	832.5	1,113.3	0	0	%	
定性的な成果 (取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載)											
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載)		<p>●水力発電事業や木質バイオマス発電事業はエネルギー事業であり、稼働安定性及び持続可能性及び経済性を見定めた上での事業立案が必要です。</p> <p>●飯島流ワークショップ事業については、目標値として定めたいいじま体験プログラム等の参加者数（ワークショップ）を大きく上回っています。</p> <p>●顧客確保と宿泊稼働率向上が課題であり、他の町内宿泊業関係者と連携した取り組みの必要性を感じています。</p>									

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	1176	●飯島ルネサンス「環境循環ライフ構想」具体化のため、プロジェクト会議を年5回以上開催し、方向性を協議 ●目指す姿を明確にし、町民への説明・企業等への協議	●環境循環ライフ構想プロジェクト会議の開催(2回) ●環境循環ライフ構想における国(総務省、農水省)との協議(3回) ●水力発電事業における長野県企業局との協議(3回) ●飯島町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定業務における水力発電に関する実現可能性調査の実施 ●木質バイオマスエネルギー事業の具体化へ向け、令和4年度に実施した実現可能性調査に基づき、エネルギー供給先関係者との打合せを実施(1回)	R 4	14,839	14,551
	環境循環ライフ構想推進費			R 5	3,060	2,922
				R 6	1,283	
2	1178	●3密対策不可避な都市部の「生活・働く」に、地方での「生活・働く」の選択肢をプラスし、「観光・農業」による癒しの要素を加え、新たな地域移住の需要の受入れ体制の構築 ●拠点として「トレーラーハウス」を農地近接で設置し、都市部の企業の社員やその家族が、アルプスと田園風景の素晴らしい環境の中で仕事をしながら休暇を楽しむことで、新しい生活様式による地方でのスローライフを提案	●都市部企業への訪問、プレゼンテーションの実施(関東方面3社訪問、中京方面4社訪問) ●飯島流ワーケーション推進協議会員の拡充(18団体) ●飯島流ワーケーション推進協議会策定会議の開催(3回) ●情報周知(ワーケーションホームページ、体験プログラムホームページ、インスタグラム、YouTube、フルライフ倶楽部、エアビーアンドビー) ●飯島流体験プログラムの拡充(67メニューを体験プログラムホームページに掲載) ●宿泊拠点施設(iiネイチャー春日平)の活用推進(令和5年度宿泊実績:205泊668人)	R 4	10,005	9,740
	飯島流ワーケーション事業			R 5	17,098	14,698
				R 6	11,331	

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		A. 順調に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である)	II

6 外部評価の所見
●ワーケーション事業は、宿泊数は伸びているが、本来の目的から離れていると考えられる。今後の事業の在り方について検討を。 ●木質バイオマス事業は、発電はむずかしいと思われるが、熱供給については検討を進める方向でよいと考える。いずれにしても、慎重に検討を進められたい。

7 所見を踏まえた改善点
【飯島流ワーケーション事業】 ●ご指摘のとおり、アフターコロナとなり観光需要やインバウンド需要が回復する中で、「ワーケーション」という取り組み自体が転換点を迎えていると考えております。よって、事業の在り方について見直しを行ってまいります。 【木質バイオマス発電事業】 ●利用可能な木材の賦存量を鑑み、経済性・持続可能性が担保できる熱供給事業の実現に向けて、慎重に検討を進めてまいります。